

平成24年9月7日

レギュラトリーサイエンス学会 学術大会 参加者各位

初秋の候、皆様におかれては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、9月2日、3日に開催しました第2回レギュラトリーサイエンス学会学術大会には、530名を上回る多くの方々にご参加をいただき、衷心より感謝申し上げます。特に、特別講演を行っていただいた自治医科大学学長の永井良三先生、日本製薬工業協会会長の手代木功先生、及び京都大学名誉教授の加藤尚武先生に厚くお礼申し上げます。また、本学術大会においては、特別講演のほか、11件のシンポジウム、19件の一般口演、20件のポスター発表が行われました。座長、演者として、ご参加いただいた方々に感謝申し上げます。

今回の学術大会は、「レギュラトリーサイエンスの実践と活用」というテーマを掲げさせていただきました。特別講演はもとより、各種のシンポジウムや一般発表において、いままでになされたレギュラトリーサイエンスの実践例のご紹介や最新の研究成果が発表されたものと考えております。今回の学術大会が、レギュラトリーサイエンスの定着とさらなる発展につながっていくことを願ってやみません。

また、今回の学術大会の運営については、行き届かない点多々あったものと思います。この場を借りて、お詫び申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げますとともに、引き続き、当学会へのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げ、略儀ながら私からの御礼の挨拶とさせていただきます。

レギュラトリーサイエンス学会
第2回学術大会 大会長 大野 泰雄